

分野：① 自然への愛着

「虫さがし」

環境アドバイザー

貴家 章子

対象 川口市立芝西小学校 3年（107人）

所要時間  13:20～14:55

場所 体育館 → 校庭・中庭 → 体育館

実施時期 令和2年9月29日

概要

学校の敷地内では、どんな生き物が生活しているのか探し出すと同時に、自然の生き物（野生）なのか、自然でない（栽培、飼育された）生き物なのかを意識して分けてみた。

プログラムの ねらい

上谷沼調節池で自然体験をする前に、学校の敷地内に何種類の生物がいるか探しだすとともに、その生物が自然のものか自然でないものか推測することができる。

プログラムの内容

1 導入（20分）

体育館で、児童に質問。「自然とは何ですか？」いくつかの動植物の写真を見せて、自然（野生の生物は、昔からその場所に代々命をつないでいるという認識を持つ。

2 展開（野外活動）（60分）

学校の敷地で、3か所の違った環境（花壇、中庭、校庭）を準備した。そこに、3クラスの児童が交代で生き物を探して記録した。時間は1か所に20分をかけて記録用紙に記録した。また、自然の生き物、自然でない生き物がはっきりわかるものを分けて記録した。

3 まとめ（15分）

体育館に戻って、記録した生き物の種類を発表した。どんな場所が生き物がすみやすいか考えた。隠れる、えさがある、水があるという条件を出した。上谷沼で見られそうな生き物をいくつか紹介し、自然体験に期待を持った。

受講者の反応

児童一人ひとりが植物、落ち葉などを真剣に見回り、虫を発見した時に感激の声をあげてアドバイザーを呼ぶことが多く見られた。アリやハムシなどふだんは気づかない小さな虫でも探し出し、女子でも平気で虫を触ろうとする子が多く、感触を楽しむ姿が見られた。

環境学習の様子（写真）



キングヨは自然の生き物？

バッタを見つけた



テントウムシがいたぞ

10種類以上みつけた人は？

